

城陽市富野村

市内先駆マイ防

したことを受け、市役所内で記者発表を行った。防災リーダーらは手作りマップの特微や配慮した点など詳細に説明。今月末にも校区内に全戸配布することを伝えた。来年度は同マップ(地震編)を含めた総合保存版10冊程度の冊子を作製。2024年度は避難行動要支援者データの整理を行い、災害に備える。

富野校区には、約4400世帯の市民が住んでいるが、そのうち自治会連合会(防災委員会)に加入しているのは「2051世帯」と、半数にも満たない。校区住民全体を対象にした地区防災計画づくりをするには、自治会では限界がある、と判断した。

そこで市長から3年任期で委嘱されている「防災リーダー」が32人(男性24人、女性8人)いる強みを生かし、2021年2月に同校区防災リーダー委員会を組織。東日本大震災に始まり、関東・東北豪雨による鬼怒川決壊、西日本豪雨による倉敷市真備地区の浸水、熊本豪雨による球磨川決壊など全国的に水害が相次いでいることから「地域の西を流れる木津川が、もし決壊した場合、避難方法の徹底が重要」と、今年度まずは「マイ防災マップ(水害編)」の作製を取り組んだ。



マイ防災マップ(水害編)の完成を報

水路「...」の柵のない水止まり「...」の文字や、水津川に、木津川に、急時は「...」が原田んぼのあ、だけ通ら、庄八幡線、だけ舗装、通ることも、の指定緊急避難は「本立木津川少年野外ター」切保は「アルの屋上駐、防災リ、池井、支援者の方が早く、かが大切

城陽中にスピーカー5台寄贈

南都銀行 南都銀行 南都銀行 私募債 (株)ケイティエフが指定

南都銀行の「ヘナント」SDGs私募債を活用し、城陽市久世荒内の(株)ケイティエフ(奥田孝大代表取締役社長)の指定で城陽中学校(川北久樹校長)にbluetooth接続ができる「アウトドアスピーカー」5台が寄贈された。

昨年5月に「ヘナント」SDGs私募債を発行。その際、奥田社長の母校である城陽中への備品寄贈を指定した。7日、城陽中で行われた寄贈式には、奥田社長、南都銀行城陽支店の小西伸尚支店長、担当行員の岩名遠さんが出席。奥田社長は「懐かしい校舎に久しぶりに入らせていただいた。放課後、合唱コンクール(工場)」の頭文字を取って命名したほど地元愛に満ちあふれている。

これが受け、川北校長は「一大行事である合唱コンクールに向けた練習や日常の音楽の練習に、これまでCDラジカセを利用してき

が出席。奥田社長は「懐かしい校舎に久しぶりに入らせていただいた。放課後、合唱コンクールの練習をしたことも鮮明に覚えています。生徒たちの青春の1ページに活用いただければ幸いです」と挨拶した。

これを受けて、川北校長は「一大行事である合唱コンクールに向け

た練習や日常の音楽の練習に、これまでCDラジカセを利用してき

ましたが、携帯性や防

水、防塵などを兼ね備え、何よりbluetooth接続ができるアウトドアスピーカーへの更新の必要性に迫られてきた。寄贈品は、これまでの課題を解決し、合唱コンクールや体育大会、集会などで手軽に、なおかつ迫力ある音を生徒たちに届け、質の高い教育を目指すうえで大きな役割を果たしてくれる」と述べ、期待と感謝の意を伝えた。

なお、この私募債は、同銀行が起債額の0.2%相当額の範囲内で「地域の社会的課題解決につながる物品を購入。起債した企業

新市街地「サンフォールテ城陽」内で、精密板金加工業を営む同社の奥田社長は、約20年前に城陽中を巣立った卒業生。社名もケイティエフ

が出席。奥田社長は「懐かしい校舎に久しぶりに入らせていただいた。放課後、合唱コンクールの練習をしたことも鮮明に覚えています。生徒たちの青春の1ページに活用いただければ幸いです」と挨拶した。

これを受けて、川北校長は「一大行事である合唱コンクールに向け

た練習や日常の音楽の練習に、これまでCDラジカセを利用してき



川北校長にスピーカーを贈呈する奥田社長と小西支店長

Table with weather forecast for the day, including temperature and precipitation.

Table with water level and flow rate information for various locations.